

## 北九州市週休2日試行工事（土木）実施要領

### （趣旨）

第1条 本要領は、建設業における担い手の確保・育成を図るための労働環境改善の取り組みとして、工事現場における週休2日を試行するために必要な事項を定めるものである。

### （定義）

第2条 この要領における用語の定義は、各号に定めるところによる。

#### （1）週休2日

1週間当たり休日を2日確保し、現場を閉所することを基本とする。ただし、年末年始（6日間）及び夏季休暇（3日間）は、この対象としない。

#### （2）実施期間

契約の翌日から完成届にて受注者が完成とした現在日までの期間とする。なお、年末年始（6日間）、夏季休暇（3日間）、工場製作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。

#### （3）現場閉所

巡回パトロールや保守点検等を除き、現場事務所（会社を含む）での事務作業を含めて1日を通して現場や現場事務所が閉所された状態をいう。

降雨、猛暑、降雪等の天候の不良による予定外の現場閉所も含む。

### （試行対象工事）

第3条 対象工事は、北九州市が発注するすべての土木工事（港湾、水道は除く）とし、以下に該当する場合は除外することができる。

#### （1）災害復旧工事

#### （2）供用開始時期など工期末や現場条件（出水期、交通規制等）に制約がある工事

#### （3）その他の理由により、週休2日による施工の実施に適さない工事

#### （4）軽微な工事

### （発注方式）

第4条 発注方式は、次のいずれかの方式とする。

#### （1）受注者希望型

受注者が、契約後に、発注者に対して週休2日に取り組む旨を協議した上で取り組む方式

#### （2）発注者指定型

発注者が、週休2日に取り組むことを指定する方式

### （試行の流れ）

第5条 発注から竣工までの流れは以下のとおりとする。

（1）発注者は、試行対象工事を発注する場合、設計書に「週休2日試行工事（土木）特記仕様書」を添付する。

（2）（受注者希望型の場合）受注者は、受注後速やかに「週休2日試行工事」の希望の有無について、打合せ簿により、発注者と協議するものとする。なお、協議の結果、「週休2日試行工事」を行わない場合は、本要領によらず施工するものとする。

（3）受注者は、発注方式に係わらず「週休2日試行工事」を実施する場合、施工計画書の「工事概要」の中で「週休2日試行工事」である旨を記載するとともに、工事現場

の週休2日取得の計画が確認できる工程表を施工計画書に「計画工程表」として添付するものとする。

- (4) 受注者は、発注者が休日取得の確認ができるよう、「休日取得計画・実績表」(様式1)を用いて前月中に計画を提出するとともに、翌月1週間以内の実績を提出するものとする。

なお、現場閉所予定日に作業を行う場合は、前後14日以内に振替を確保するものとする。

- (5) 休日や作業日を変更する場合は、前日までに発注者に申し出るものとする。  
(6) 受注者は、公衆の見やすい場所に「週休2日試行工事」である旨を明示する。記載方法は、次の例を基本とする。

(記載例)



- (7) 発注者は、緊急時等やむを得ない場合を除き、休日の前日等に休日中の作業が発生するような指示等を行わないものとする。

(現場閉所率の確認方法)

第6条 現場閉所率は、以下により求めることとする。

$$\text{現場閉所率} = \text{現場閉所日数} / \text{実施期間}$$

(間接工事費等の補正)

第7条 (受注者希望型の場合) 間接工事費等の補正は、次の(1)～(3)に示す現場閉所の達成状況に応じた補正係数を乗じて、最終変更設計時に割り増し補正を行うものとする。また、市場単価については、別紙1に示す現場の閉所達成状況に応じた補正係数を乗じるものとする。なお、現場閉所の達成状況を確認後4週6休に満たないもの、および工事着手前に週休2日に取り組むことについて協議が整わなかったものについては、変更の対象としない。

- (1) 4週8休以上 (現場閉所率が8日/28日以上)  
労務費1.05 機械経費(賃料)1.04 共通仮設費1.04 現場管理費1.06  
(2) 4週7休以上4週8休未満 (現場閉所率が7日/28日以上8日/28日未満)  
労務費1.03 機械経費(賃料)1.03 共通仮設費1.03 現場管理費1.04

(3) 4週6休以上4週7休未満(現場閉所率が6日/28日以上7日/28日未満)

- 労務費1.01 機械経費(賃料)1.01 共通仮設費1.02 現場管理費1.03
- 2 (発注者指定型の場合) 間接工事費等の補正は、当初設計時において、第1項に示す
- (1) 4週8休以上の補正係数を乗じて割り増し補正を行うものとする。また、市場単価については、別紙1に示す4週8休以上の補正係数を乗じるものとする。なお、現場閉所の達成状況を確認後、4週8休に満たない場合は、最終変更設計時に達成状況に応じて減額補正を行うものとする。

(工事成績評定)

- 第8条 発注者は、週休2日の達成状況に応じて、工事成績評定により加点評価するものとし、達成できない場合であっても、減点評価しないものとする。
- 2 試行対象外工事であっても、受注者が希望し、第5条(2)～(6)を実施した工事については、加点評価するものとする。

(実施証明書)

- 第9条 週休2日を試行し、実際に4週6休以上の達成が確認できた場合、発注者は完成を確認した後に、週休2日実施証明書を発行するものとする。

(その他)

- 第10条 受注者は、週休2日の希望状況や実施結果に係わらず、検査日までに「週休2日試行工事(土木)実施報告書」を電子メールにて技術管理課に必ず提出すること。
- 2 この要領に定めのない事項については、受発注者の協議のうえ決定するものとする。

附 則

この要領は、令和元年10月1日から施行する。

附 則

この改定要領は、令和2年4月1日から施行し、設計書適用年版が令和2年4月1日基準の工事から適用する。

附 則

この改定要領は、令和2年5月1日から施行し、設計書適用年版が令和2年5月1日基準の工事から適用する。

附 則

この改定要領は、令和2年10月1日から施行し、設計書適用年版が令和2年10月1日基準の工事から適用する。

附 則

この改定要領は、令和3年4月1日から施行し、設計書適用年版が令和3年4月1日基準の工事から適用する。

附 則

この改定要領は、令和3年10月1日から施行し、設計書適用年版が令和3年10月1日基準の工事から適用する。

附 則

この改定要領は、令和4年10月1日から施行し、設計書適用年版が令和4年10月1日基準の工事から適用する。

## 市場単価方式による週休2日の取得に要する費用の計上に関する補正係数

名称	区分 規格・仕様	補正係数		
		4週6休以上 4週7休未満	4週7休以上 4週8休未満	4週8休以上
鉄筋工		1.01	1.03	1.05
ガス圧接工		1.01	1.02	1.04
インターロッキングブロック工	設置	1.00	1.01	1.02
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（ガードレール）	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（ガードパイプ）	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（横断・転落防止柵）	設置	1.01	1.03	1.04
	撤去	1.01	1.03	1.05
防護柵設置工（落石防護柵）		1.00	1.01	1.02
防護柵設置工（落石防止網）		1.01	1.02	1.03
道路標識設置工	設置	1.00	1.01	1.01
	撤去・移設	1.01	1.03	1.04
道路付属物設置工	設置	1.00	1.01	1.02
	撤去	1.01	1.03	1.05
法面工		1.00	1.01	1.02
吹付砕工		1.01	1.02	1.03
鉄筋挿入工（ロックボルト工）		1.01	1.02	1.03
道路植栽工	植樹	1.01	1.03	1.05
	剪定	1.01	1.03	1.05
公園植栽工		1.01	1.03	1.05
橋梁用伸縮継手装置設置工		1.00	1.01	1.02
橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工		1.01	1.02	1.04
橋面防水工		1.00	1.01	1.02
薄層カラー舗装工		1.00	1.00	1.01
グルーピング工		1.00	1.01	1.01
軟弱地盤処理工		1.00	1.01	1.02
コンクリート表面処理工（ウォータージェット工）		1.00	1.01	1.01
硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
リップ付硬質塩化ビニル管設置工		1.01	1.02	1.03
砂基礎工	人力施工	1.01	1.03	1.05
	機械施工	1.01	1.03	1.05
碎石基礎工	人力施工	1.01	1.03	1.05
	機械施工	1.01	1.03	1.05
組立マンホール設置工		1.01	1.03	1.05
小型マンホール工		1.00	1.00	1.01
取付管およびます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.01
	取付管布設及び支管取付工	1.00	1.01	1.02